平成二十二年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校一年　国語　解答及び配点一覧

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に□の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、□に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。
また、大問2は、言語事項をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の観点を示しています。

大問・領域	中問	小問	連番		配点		大問の計
1 話すこと 聞くこと	(1)		①	○ 田中さんの発表テーマのキーワードである「伝統文化」を聞き取っている。 ・ **日本の伝統文化** 等	3		
	(2)		②				
	(3)	関心・意欲・態度	③	○ 田中さんの発表について、最も心に残った部分を取り上げ、そのことについて、自分の考えを話そうとしている。	3		18
			④	○ 左の三つの観点について、それぞれの配点で採点する。 評価の観点及び配点 ○ 田中さんの発表を聞いて、最も心に残ったことを入れている。 3 ○ 心に残ったことについて、自分なりの考えを入れている。 3 ○ 話し言葉で書いている。 1	7		
			⑤	○ 田中さんが担当した発表テーマを正確に聞き取っている。 ・ **伝統文化のすばらしさ** 等	5	**エ**	3
			⑥	○ 田中さんの発表を聞いて、心に残った部分を取り上げ、そのことについて自分の考えを話し言葉で書いている。 ・ **わたしは、田中さんの発表の中で、「わたしたちは、美しい言葉の響きを大切にしていく必要がある。」という言葉が最も心に残りました。** **わたしも、これから百人一首などの和歌を学習するときは、覚えるまで何度も声に出して読んで、美しい言葉の響きを味わいたいと思います。** 等	7		
2 言語事項	(1)		①	**たも**（つ）	1		20
			②	**のぞ**（んで）	1		
			③	**せんねん**	1		
			④	**しゅうしゅう**	1		
			⑤	**はくひょう**	1		
			⑥	**振**（る）	2		
			⑦	**洗**（う）	2		
			⑧	**沈**（む）	2		
			⑨	**危険**	2		
			⑩	**補強**	2		
	(2)		⑪	○ 行の中心に文字をそろえて書いている。 1 ○ 紙面の適切な位置に書いている。 1			
			⑫				
			⑬				
			⑭				
			⑮	○ 左の二つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ○ 上記二つの観点を満たしている。 2 十二月の生活目標 規則正しい生活をしよう			
	(3)		⑯	**ウ**	1		
	(4)		⑰	○ 接続語（。だから、）の前後五文字の片方を正しく書いている。 1 ○ 接続語（。だから、）の前後五文字の両方を正しく書いている。 2 ・ **迷っていた**（。だから、）**わたしは、**			

大問・領域	中間	小間	連番	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
3 読むこと（詩）	(1)	ア	⑱	2	**赤い水瓜（西瓜）の内側** 等	3	
		イ	⑲	2	**スプーンでひと掻（か）きずつ召し上がる** 等	3	
	(2)	ウ	⑳		○ 詩の情景や作者の心情を理解し、作者の感動の中心をとらえて、十字で書き出している。 ・ **静かに熟れてゆく果実**	3	
	(3)	関意態	㉑		○ 詩の挿絵を選ぶ時の理由について、詩の中の表現を踏まえたうえで書こうとしている。	3	
			㉒		○ 左の三つの観点について、それぞれの配点で採点する。 評価の観点及び配点 ○ 詩のイメージに合うと思う挿絵を選んでいる。 3 ○ 詩の中の表現を引用しながら、挿絵を選んだ理由を書いている。 3 ○ 話し合いの流れを踏まえている。 2 ※ 挿絵は、ア・イのどちらを選択してもよい。	8	
					○ 上記三つの観点をすべて満足できるように書いている。 ・ この詩のイメージに合う挿絵は（ア）だと思います。 その理由は、**第三連の表現から、日が暮れて空が青くうす暗い色に染まった中に、かすかに赤い横雲が残っている様子に合うと思うからです。** 等 ・ この詩のイメージに合う挿絵は（イ）だと思います。 その理由は、**第一連の表現から、水瓜の内側の赤い色を連想するほど、夕焼けで真っ赤に染まった夏の空の様子に合うと思うからです。** 等	8	
							20

授業改善の視点　詩歌における表現の仕方や情景描写等に着目し、語句を引用しながらお互いの意見や感想を交流する言語活動を工夫する。

大問・領域	中間	小間	連番	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
4 読むこと（説明文）	(1)		㉓	3	○ 「ひたすら書く」理由の後半だけを書いている。 ・ **ことばの流れが悪くなるから。** 等	3	
					○ 「ひたすら書く」理由を書いている。 ・ **よけいなことに気をとられていると、ことばの流れが悪くなるから。** 等	5	
	(2)	ア	㉔		○ 「風を入れる」ことがどうすることか書いている。 ・ **（しばらく）時間をとること** ・ **なるべく長く置いておくこと** 等	3	
		イ	㉕		○ 「風を入れる」ことの目的を正しく読み取ってまとめている。 ・ **書いてあることがありのまま目に入るようにするため。** ・ **書いてあることを冷静に読むため。** 等	5	
	(3)	ウ	㉖		○ 推敲の方法を書いている。 ・ **いじわるな読者になる方法** ・ **風を入れる（純粋な読者になる）方法** ・ **音読する方法** ・ **だれかに読んでもらう方法** ○ その方法を取り入れる理由を書いている。 ・ **自分の文章を厳しい目で推敲したいから。** ・ **時間をおいて冷静に読み返せるから。** ・ **自分一人で手軽に行うことができるから。** ・ **客観的に点検してもらえるから。** 等	3	
					○ 「ひたすら書く」理由を書いている。 ・ **よけいなことに気をとられていると、ことばの流れが悪くなるから。** 等	5	
					○ 「風を入れる」ことがどうすることか書いている。 ・ **（しばらく）時間をとること** ・ **なるべく長く置いておくこと** 等	3	
					○ 「風を入れる」ことの目的を正しく読み取ってまとめている。 ・ **書いてあることがありのまま目に入るようにするため。** ・ **書いてあることを冷静に読むため。** 等	5	
					○ 推敲の方法とその理由を書いている。 ・ **自分の文章を厳しい目で推敲したいから、いじわるな読者になる方法を取り入れる。** ・ **時間をおいて冷静に読み返せるから、風を入れる（純粋な読者になる）方法を取り入れる。** ・ **自分一人で手軽に行うことができるから、音読する方法を取り入れる。** ・ **客観的に点検してもらえるから、だれかに読んでもらう方法を取り入れる。** 等	7	
							20

大問・領域	中問	小問	連番	解答状況	配点
書くこと	(4)		㉗	○ 使わない方がよい理由を書いている。 ・ **「コラボレーション」という言葉を文章に用いた場合に、意味が伝わりにくいと考えられるから、使わない方がいい。** 等	4
				やや満足及び概ね満足できる解答状況	
	(5)	関意態	㉘	○ 資料から分かったことをもとに、条件に合わせて自分の考えを書こうとしている。	2
			㉙	○ 左の三つの観点について、それぞれの配点で採点する。 評価の観点及び配点 ○ カタカナ語を使用するときに気を付ける点について資料の内容を踏まえて書いている。 4 ○ カタカナ語の具体例を挙げながら書いている。 3 ○ 百六十字以上二百字以内で書いている。 3	
		言	㉚	○ 文の主述、文と文のつなぎ、文末の表現等に注意し、正しく記述している。 1 ○ 誤字・脱字がなく、正しい表記で書いている。 1	
				十分満足できる解答状況	
				○ 資料に基づき、使わない方がよい理由を書いている。 ・ **資料1では、「コラボレーション」という言葉の意味が分かる人が増えているが、まだ三割以上の人は意味が分からないから、使わない方がよい。** ・ **資料2では、カタカナ語の使用が好ましいと感じる理由として、「分かりやすい」を挙げている人は約三割しかいないから、使わない方がよい。** ・ **資料3では、カタカナ語を使うと日本語の本来の良さが失われると感じる人が半数以上だから、使わない方がよい。** 等	7
				○ 上記三つの観点をすべて満足できるように書いている。 ・ **わたしは、時と場合によって、カタカナ語を用いる方が分かりやすいかどうかを考えて、使うか使わないかを決めたいと思う。** **たとえば、「リサイクル」という言葉はすでに広く使われているので、カタカナ語を使うことにする。もし、カタカナ語でなければ表せない物事である場合は、カタカナ語を使い、それに分かりやすく説明を加えて、どのような意味か相手に伝わるようにしたい。** 等	10
				○ 文の主述、文と文のつなぎ、文末の表現等に注意し、正しく記述しているとともに、誤字・脱字がなく、正しい表記で書いている。	3
授業改善の視点　決められた条件や立場で、文章や図表、経験等を根拠に自分の考えを説明する文章を書く言語活動を工夫する。					大問の計 22